

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	学校教育課		
	係名	施設係		
	記入者		電話(内線)	625

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	学校施設耐震化推進事業(中学校)	(3) 事業の 優先度	D
(4) 総合計画での位置づけ		(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	主要事業	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)
② 施策コード	41201 (総合計画掲載ページ 115 ページ)	会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)	財源区分	国庫補助		
基本施策	4-1生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)	予算科目	款 10	項 3	目 3
施策	②安心して学べる学校づくりの推進	予算書上の 事業名称	中学校施設耐震化推進事業費 (予算書 ページ に掲載)		
施策内容	1学校施設・設備の充実	(8) 事務分類			
(5) 事業期間	開始 年 月から 終了 年 月まで (力年)	根拠法令			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
生徒及び教職員 避難所開設時の避難住民	昭和56年の新耐震設計基準施行以前に建築された学校施設のうち、耐震2次診断の結果、耐震性が基準より低かった学校施設の耐震化を図り、生徒の安全を確保する。 地震災害時に地域住民の避難場所としての役割を確保する。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・平成27年度事業 結城南中校舎耐震工事 結城東中武道場耐震等工事	阪神淡路大震災, 東日本大震災の教訓
・平成28年度事業 結城南中武道場耐震工事 (H27繰) 結城南中技術棟耐震工事 (H27繰)	

(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境, 市民ニーズ等) や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映
● 予算内訳	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)
	27 年度	28 年度	29 年度 30 年度 31 年度
事業内容			
結城南中校舎耐震工事	321,656		
" 工事監理委託料	8,003		
結城東中武道場耐震等工事	11,567		
結城南中武道場耐震工事	11,600		
" 工事監理委託料	0		
結城南中技術棟耐震工事	0		
" 工事監理委託料	0		
合計	352,826		
国庫支出金 (千円)	132,067		
県支出金 (千円)			
地方債 (千円)	182,600		
その他特定財源 (千円)			
一般財源 (千円)	38,159		
合計 (千円)	352,826		
補助・起債制度名	学校施設環境改善交付金, 全国防災事業債, 緊急防災減災事業		

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）								
指標の名称		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	中学校施設耐震化完了棟数	目標値	棟		2	0	0	0
		実績(見込)値		2	2			
		目標値						
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	中学校施設耐震化率 (全棟数19棟, 耐震対象棟数12棟)	目標値	%		100	100	100	100
		実績(見込)値		89	100	100	100	100
		達成率		89.0 %	100.0 %			
		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率	%	%				
5. 事業評価								
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。								
(2) 項目別評価								
評価項目・客観的評価				理由				
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	安心・安全な学校施設を提供するため必要な事業である。				
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	行政以外には実施できない事業である。				
	手段の妥当性	A	妥当である	現在の手段が一般的である。				
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	工事に係る準備や設計, 学校側との連絡調整に人員や時間を要する。				
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	改修を要する施設について順次対応ができています。				
有効性	成果の向上	A	上がっている	年々耐震性のある施設が増加しており, 成果が上がっている。				
進捗度	事業の進捗	A	順調である	計画的に整備が進められている。				
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。								
平成28年度で学校施設耐震化が完了のため、問題点・課題等は無し。								
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？								
平成28年度事業終了								
6. 事業の方向性判断								
評価主体	28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	休止・廃止・終了			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	休止・廃止・終了			平成28年度事業終了。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う				上記評価のとおり。				